



# 図書館だより



No.7

2015.11.02.(月)

ノートルダム学院小学校

## 読書週間が始まりました！

11月になりました。「読書週間」が先月27日(火)～11月9日(金)までの期間で行われています。この取り組みは、毎年全国の学校や図書館などで実施されていますが、その始まりは、よりグローバル(世界的)な視点で作られたようです。戦後の傷痕が残っていた昭和22年、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意の下に進められました。また当初は、1週間という期間から始まりましたが、「その期間では足りない！」ということから2週間に延長され、今日に至ったといわれています。

今年の標語は、「いつだって読書日和」(先月号でもお伝えしました)。図書館には、「10分間で読める」シリーズや「イッキに読める」シリーズなどもそろえています。今年度、まだ本を手を取っていない人は、これを機にぜひ読んでみましょう！



### 11月生まれの人



近年使用されている 1000 円札で、お見かけしますね。

野口英世(本名は、「清作」)は、生後間もなく、左手に大やけどを負い、片手での生活を送るようになりました。

「農作業ができない代わりに、勉学で頑張れ！」という母の応援から、より一層励んで

たそんなある日、アメリカの技術を持ち帰った医師の出会いと彼の恩師や友人の資金集めにより、これまでの彼の生活が大きく一転したのです。不可能を可能にすることができる、その事実と技術に魅了されたことが、彼にとって医師を志す大きなきっかけになったといわれています。皆さんにもそんな出会いが訪れるといいですね。

### 図書館から皆さんに伝えたいこと

後期も引き続き、皆さんが図書館に足を運び、熱心に本を読む姿をよく目にし、とても嬉しく思っています。

図書館では、代本板と児童カードは必ず必要です。そして本を図書館の外(教室やお家など)に持っていく場合は、必ず図書館のパソコンのバーコードリーダーに通さなければいけません。その理由は、これまでの図書館だよりのクイズを確認すれば分かりますね。

“One for All, All for one”

図書館の決まりを守れているか、自分自身に問いかけてみましょう。

### 今週のおススメベスト3

#### 1.「10歳までに読みたい世界名作」シリーズ 学研教育出版

あしながおじさん/アラビアンナイト シンドバットの冒険/アルフスの少女ハイジ/怪盗アルセーヌ・ルパン/西遊記/小公女セーラ/宝島/ふしぎの国のアリス  
★世界の名作がさらに読みやすくなって登場！イラスト付きなので、お話の情景がイメージしやすいですよ。  
★

#### 2.「いのちをいただく」 内田美智子著 講談社

★普段、私達が食べているお肉。牛や豚からいただいていると分かってはいるけれど、実際どうということなんだろう…。動物も人と同じ感情があるということが改めて分かるお話です。★

#### 3.「お金のこと」 関和之著/画

★お金でほとんどのものが買える時代。お金を使ったら、借いたらどうなるのか。お金に関わる消費税など、使うために知るべき内容がたくさん詰まっている1冊です。★

### 前回の図書館クイズの答え

【Q1.】

1.家に忘れてきてしまった時

【Q2.】

2.図書館の(茶色い)代本板を使う

【Q3.】

3.ノートと鉛筆に書き留める